

一人の手



市議会議員 佐藤ひろゆき

**産業の活性化や
環境保護にも
頑張ります**

新年明けましておめでとうござ
います。

市民の皆様には今年もご健康で、

良い年になりますよう、心からご祈念申し上げます。

昨年十月の市議選では多くの方からご支援をいただき、有難うございました。
三期目は、これからの鶴岡をつくっていくために、多くの課題に向かつて、大いに挑戦していきます。これまでに取り組んできた福祉・健康・医療はもちろんのこと、さらに農業・商業・工業などの産業の活性化と雇用の創出・地球温暖化防止・循環型社会づくりなどの環境保護にも取り組んでまいります。



榎本政規市長と



富塚陽一前市長と（ご自宅にて）

発行日	平成二十二年一月二十五日
発行者	佐藤ひろゆき
事務所	〒997-0024 鶴岡市日田一丁目七六
電話	0235-24-3402 FAX 25-2713
住宅	〒997-0025 鶴岡市日田一丁目七六
電話	0235-25-1411 FAX 25-1411

新政クラブ

地域の担い手 新しい公共を

少子化対策、子育て支援、介護や看護の受け皿づくり、地域での生活を支えあう仕組みをつくること喫緊の課題であります。ここは行政や企業、新しい公共として非営利組織のNPOや社会的企業の出番です。これからは、子育てや介護・福祉・地域医療を担うために、主婦や企業を退職したシニア、引きこもりの若者、障害者が支える働いて働くことを支援して、雇用の創出や地域おこしをする。そんな鶴岡を目指します。



「市議会だより」より転載

市民生活常任委員会委員長に就任

昨年11月から市議会の市民生活常任委員会委員長に就任し、所管の市民部（コミュニティづくり）環境部（温暖化防止）水道部（安全でおいしい水の供給）消防

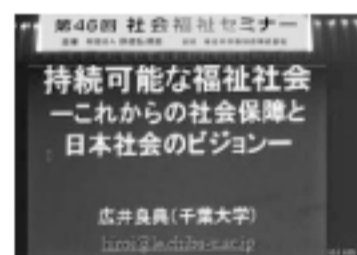


美咲町に建設予定の新消防本部の完成予想模型

（新消防本部の整備）危機管理室（自主防災）に私のテーマ「安心と安全のための地域コミュニティづくり」に全力を傾注します。

福祉の最先端を 学んできました

昨年7月31日に鉄道弘済会主催の第46回社会福祉セミナーが東京で開催され、千葉大学教授広井良典氏の基調講演「持続可能な福祉社会—これからの社会保障と日本社会のビジョン—」や社会事業大学学長大橋謙策氏他のシンポジウム「漂流する社会福祉からの脱出」等福祉の最先端を学んできました。



広井教授の講演



10月3日 天皇陛下ご在位20周年パレード



1月4日 新年祈願祭



改修が待たれる七日町通り

要望活動を続けています



山形大学

「農学のタベ」で学ぶ

五月十四日から二十四日まで三〇回にわたって開かれた山形大学農学部主催の「農学のタベ」を受講して、食育・有機農業・バイオテクノロジー・環境問題など現代の農学を幅広く勉強しました。

女性のつどい開かれる

後援会女性部の「女性のつどいが」昨年8月25日に勤労者会館で昔原寿子氏の講話「栄養と健康について」と11月25日にはいこいの村庄内で荘内病院地域医療連携室の講話「がん緩和ケアの取り組み」の2回開かれ、参加者からは大変喜ばれました。



11月25日 いこいの村で研修

国保運営協議会を 退任しました

平成十五年五月から所属し、平成十九年十月から会長を務め、市民の皆様健康と医療を守る活動をしてまいりました。鶴岡市国民健康保険運営協議会を退任しました。これに伴い、庄内地区の会長、山形県の副会長も併せて退任をしました。これまでにご理解とご協力を賜りました市民の皆様にお礼申し上げます。



10月21日 東北大会（於：盛岡市）



7月29日 庄内地区研修会（於：庄内町）

修士論文が出版されます

東北公益文科大学公益総合研究所公益ビジネス研究プロジェクト編集による「公益ビジネス最前線」地域再生の切り札はこれだ」と題する本が来る3月に出版社特きようせいから刊行される予定です。私が大学院で研究した修士論文が「障害者による就労と地域生活支援サービス」の章題で共著として出版されます。



山田富生氏



山田真知子氏

公益大大学院の学外研究員となりました

昨年四月から東北公益文科大学公益総合研究所公益ビジネス研究プロジェクトの学外研究員となりました。今年一月二十三日には研究プロジェクト主催によりフィンランドの競争力を支える福祉政策を学ぶ講演会とシンポジウムが大学院ホールでフィンランドから山田真知子・富生母子をお招きして開かれ、北欧の先進的な福祉政策を学びました。ぜひ視察に行きたいと思えました。



11月19日 合併町村を会派視察（写真：湯浅地区）



二小スクールゾーン対策協議会より 要望の桜新町にカーブミラー完成



11月19日 合併町村を会派視察（写真：湯浅地区）

もうひとつの成人式

今年1月11日に障害のある人のデイサービス施設ラブラドルに通う三人の利用者が成人を迎え、施設の二階で文化会館での「成人のつどい」とは違う、とても心の温まるもうひとつの「成人式」に出席し、お祝いをしました。



7月19日 加藤代議士今野加世子さん宅で歌う



立川むかし話ついで 総合保健福祉センターの愛称が「にこフルセンター」に決まりました。

子育て支援者養成講座にオブザーバー参加

昨年11月4日から12日まで出羽庄内国際村で回開催されたNPO法人やまがた育児サークルランドによる「子育て支援者養成講座」にオブザーバーとして参加しました。子育て支援を頑張ります。



10月3日 荘内教会保育園運動会

鶴高養現場実習支援の会が設立20周年

昨年8月1日に鶴高養現場実習支援の会設立20周年記念式典がエルサンで開催されました。「よつばの里」は平成11年より会員として実習生受け入れ協力をしています。



記念式典で阿部伸一校長挨拶

「障害者自立支援法」の今後の行方

昨年12月11日に中央障害者施策推進協議会が開催され、12月15日に「障がい者制度改革推進本部」設置され、今後はすべての障がい者問題を検討していくことが報告されました。今年1月12日には「障がい者制度改革推進会議」がスタートしました。基本方針として「障害者自立支援法」の廃止、利用者の応能負担を基本とする「障がい者総合福祉法(仮称)」の立案、「障害者権利条約」の批准に向けた国内法の整備、政策に障害を持つ当事者が過半数入り意見を反映させる等であります。しかし、これらの政策を実現していくためには大きな財源が必要であります。国民からどのように理解を得ていくかが大きな課題であります。

銀座商店街の御用聞き事業のアドバイザー

銀座商店街振興組合が県の21年度中小企業支援計画に基づく中小企業新サービス創出支援事業を受けて、高齢社会や多様化する消費者ニーズに対応するため、小売サービス業の新たなニーズの掘り起こし(御用聞き)やその供給体制(宅配サービス等)のシステムづくりを目指しています。私はそのアドバイザーとして応援しています。



事業のマスコットぎんまるくん

「きらきら音楽祭」を開催

昨年十一月二十九日に出羽庄内国際村を会場に第一回「きらきら音楽祭」が開かれました。障害のある人で楽器を演奏する方の発表する機会を提供しようと呼び掛けて賛同してくださった方々と実行委員長として開催しました。大好評でした。



挨拶と会場の多くのお客様



9月13日 第三地区身障協会歩行訓練 8月15日 山王町と銀座通りで語り祭開催実行委員として



10月17日 朝陽二小 文化祭 1月16日 パリアフリー卓球大会に出場

山王東部サロンが100回目を開催

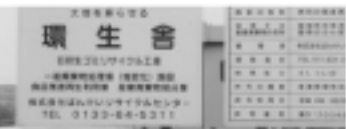
昨年7月22日に山王東部サロン(代表五十嵐節子)が平成13年から1回も休まず、教えて100回目を迎え、今年1月20日には小さな親切の会より実行章が贈られました。私は7年前から参加させていただいてますが、お茶のみサロンは支えあう地域の絆づくりのために最も有効な方法であると考えております。これからもお元気で永く頑張ってください。



代表の五十嵐節子さんと会員の皆さんと多くのお客様とお祝い

環境政策を集中的に視察

昨年7月6日から8日まで新政クラブの会派で北海道の室蘭市マリソビジョン計画・苦小牧市市立病院経営改革プラン・石狩市の一般企業による食物残渣の生ごみリサイクル工場等先駆的な環境政策を学んできました。



石狩市紙ばけいリサイクルセンターにて

つるおが市議会だより 一般質問

9月定例会
これからの福祉施策について
議員 高齢者・介護者のニーズは多様であり介護保険制度だけでは困難である。地域全体で支えていくには、民生委員・ボランティア・地域住民等のネットワークと地域包括ケア体制の構築が必要ではないか。
健康福祉部長 地域ぐるみのネットワークが必要不可欠である。地域包括支援センターや地域での共助のネットワーク活動を基盤にし、地域ケア体制を一層強化したい。
議員 障害のある人の雇用・就労において重要な役割を果たす「地域自立支援協議会」の設置は、総合保健福祉センター内に設置する「障害者相談支援センター」の役割・機能はどうか。
健康福祉部長 23年度中までには必ず設置する。就労移行支援が大きなカギとなる。愛光園やかたぐらまると障害者相談支援センターとの連携の中で一元的に支援する。
議員 これからの地域福祉において、総合的な福祉コミュニティの構築、市社会福祉協議会の役割、ボランティアの育成等地域福祉活動の基盤整備はどうか。
健康福祉部長 福祉コミュニティの構築はコミュニティソーシャルワーク機能の整備を市社会福祉協議会とともに検討したい。地域福祉活動は「地域福祉計画」と22年度末まで一体的に策定し、強力な連携体制を積み上げたい。ボランティアの育成・組織化は市との密接な連携のもと住民の主体的な活動を促したい。

12月定例会
鶴岡市社会福祉協議会について
議員 合併に伴い市社協も統合され、本部及び六つの福祉センター、十九の施設、職員が六百名を超す大規模な事業体となった。本部と各福祉センターとの機能と役割をどう考えているか。
健康福祉部長 一体的・効率的な運営に向けて組織機構の見直し改善を重ねている。理事は三班体制で法人運営の強化拡充を検討しており、地域福祉の推進強化の取り組みに期待している。
議員 地域福祉に対する取り組みを充実、強化するため職員の地区担当制をとる考えはないか。
健康福祉部長 旧町村地域の社協と比較すると鶴岡地域が手薄となっているので、もったいなくなく学区地区社協に入り支援するよう協議していきたい。
議員 地域福祉の充実には教育委員会の社会教育・生涯学習分野との連携も必要と考えているか。
健康福祉部長 関係する団体・機関等の活動を包括した視点・手法で再構成することは非常に重要で効果が上がることと考えている。
議員 市社協が地域福祉に役立つ組織として住民主体となる方向で使命・理念・基本方針・事業計画のあり方を定めたい。「ビジョン」を策定する考えはないか。
健康福祉部長 来年度「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」を策定するので、その中で位置づけ等を市社協と一緒に考えていこう。